

■コメント

1. 百日咳

8人 (定点当り0.33人)報告されています。今年の3月頃から多くなっています。特に今年は成人の報告数が多く、全国でも同様の傾向となっています。

2. 手足口病

定点当り0.92人とやや増加しており、例年同時期と比べて多い状態が続いています。安芸区4.0人となっています。

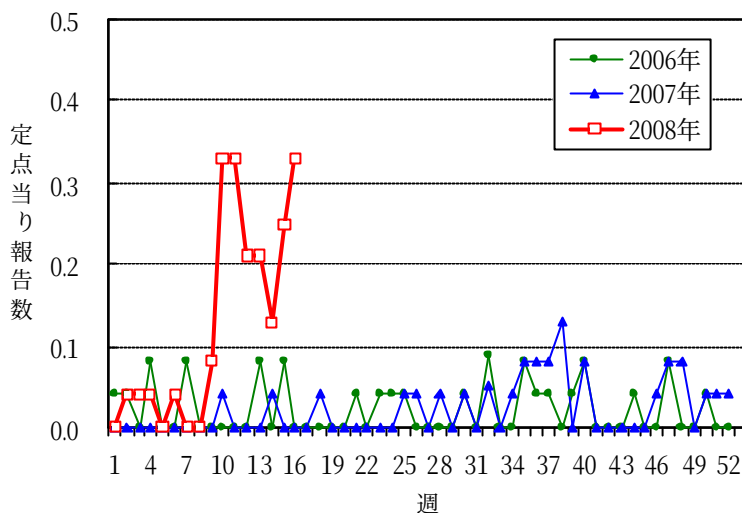
3. 感染性胃腸炎

定点当り8.17人とやや減少しています。中区15.0人、安芸区14.0人、佐伯区10.3人となっています。

4. 麻しん

3件報告されています (3件とも予防接種歴不明)。

百日咳



■5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	35	0.95	3.54	◇	ヘルパンギーナ	-	-	0.08	
咽頭結膜熱	8	0.33	0.24		流行性耳下腺炎	2	0.08	0.88	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	1.83	1.59	◇	RSウイルス感染症	-	-	0.02	
感染性胃腸炎	196	8.17	8.86	◇	急性出血性結膜炎	2	0.25	-	
水痘	43	1.79	1.53	◇	流行性角結膜炎	6	0.75	0.98	
手足口病	22	0.92	0.34	◇	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	8	0.33	0.32		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.06	
突発性発しん	22	0.92	0.80		マイコプラズマ肺炎	5	0.71	0.40	
百日咳	8	0.33	0.01		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1.2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1.15～2の増減

微増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減

横ばい → ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

注1) 過去5年間 (RSウイルス感染症は4年間の同時期平均 定点当り)
 注2) 鳥インフルエンザを除く
 注3) オウム病を除く

■1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	4	59	男性 30歳代)・1人、女性 70歳代)・1人、女性 80歳代)・2人
5	急性脳炎	1	1	女性 10歳未満)
5	麻しん	3	31	男性 10歳未満)、女性 10歳代)、男性 30歳代)

5類感染症報告状況の推移 定点把握対象分)

			クラミジア肺炎 (注2)	マイコプラズマ 肺炎	無菌性髄膜炎	細菌性髄膜炎	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	RSウイルス 感染症	流行性耳下腺炎	ヘルパンギーナ	百日咳	突発性発しん	伝染性紅斑	手足口病	水痘	感染性胃腸炎	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	咽頭結膜熱	インフルエンザ (注1)
報告数	広島市	第12週	-	3	-	-	6	-	1	-	1	5	17	5	1	44	343	50	6	135
		第13週	-	2	-	14	-	-	1	1	5	15	10	3	43	252	31	5	77	
		第14週	-	2	1	3	1	-	1	1	3	20	3	3	36	212	24	6	69	
		第15週	-	3	-	5	-	2	1	1	6	18	5	18	52	219	42	3	51	
		第16週	-	5	1	6	-	2	-	-	2	8	22	8	22	196	44	8	35	
定点 当り	広島市	第12週	-	0.43	-	0.75	-	-	0.04	-	0.04	0.21	0.71	0.21	0.04	1.83	14.29	2.08	0.25	3.65
		第13週	-	0.29	-	1.75	-	-	0.04	0.04	0.21	0.63	0.13	0.63	0.42	1.79	10.50	1.29	0.21	2.08
		第14週	-	0.29	0.14	0.38	0.14	0.38	0.04	0.04	0.13	0.83	0.13	0.83	0.67	1.50	8.83	1.00	0.25	1.86
		第15週	-	0.43	-	0.63	-	0.63	0.04	0.04	0.25	0.75	0.25	0.75	0.75	2.17	9.13	1.75	0.13	1.38
	全国	第16週	-	0.71	0.14	0.75	-	0.75	-	0.08	0.33	0.92	0.33	0.92	0.33	1.79	8.17	1.83	0.33	0.95
第14週		0.01	0.27	0.02	0.66	0.02	0.66	0.03	0.09	0.36	0.04	0.04	0.61	0.15	1.64	7.95	1.58	0.27	0.94	
		第15週	0.03	0.35	0.01	0.70	0.05	0.09	0.34	0.06	0.04	0.04	0.67	0.15	1.55	8.71	1.72	0.27	0.80	

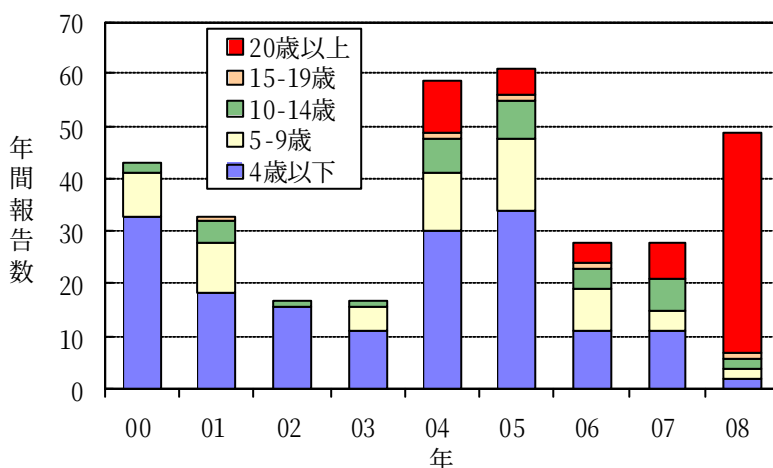
注1)鳥インフルエンザを除く 注2)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	25	男	2008/02/13	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	6	女	2008/02/14	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	0	女	2008/02/22	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	5	男	2008/02/26	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	6	男	2008/03/03	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	4	男	2008/02/25	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	45	女	2008/02/28	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	2	男	2008/02/28	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	15	男	2008/03/08	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	78	男	2008/03/11	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型

参考)広島市における百日咳の年間報告数の推移

2000年～2008年第16週)



注)市内24か所の小児科定点からの報告数です。

百日咳は百日咳菌によって引き起こされる感染症で、特有のけいれん性の咳が長く続くことが特徴です。乳児から成人までいずれの年齢でもかかりますが、特に乳児の場合重症化することがあり注意が必要です。

最近では全国的に成人の百日咳が増加しており、広島市でも今年は、例年と比べて20歳以上の患者報告数が多くなっています。

成人の場合は、咳が長い間続くものの、特徴的なけいれん性の咳がみられない場合も少なくないため、百日咳とわからないことも多く、そのままにしておくとかワクチン未接種の乳幼児に感染させるおそれがあるので注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2008年第16週 (4月14日～4月20日)